



令和8年の始まりにあたり

校長 石井 正広

新年を迎え、子供たち、ご家庭・地域の皆様のますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。年末・年始を穏やかに過ごされ、心新たに令和8年を迎えられたことと存じます。また、昨年は、保護者や地域の皆様の温かいご理解・ご協力をいただき、教育活動を無事に進めることができました。改めて深く感謝申し上げます。

令和8年は「午年」です。「馬（うま）」は、人と深くかかわってきた動物です。古来、農耕の荷物の運搬だけでなく、戦においても騎馬として大きな力を発揮してきました。「午年」は、**力強さ・前進・成功・勝負運**の象徴とされ、物事が「**うま（馬）くいく**」に通じる縁起の**良い年**と言われています。さらに、令和8年は、60年に一度の「丙午（ひのえうま）」の年で、**新しい挑戦や飛躍の年**として期待されています。

さて、新年は、**これまでの自分を振り返り、新たな一歩を歩みだす大切な時期**になるかと思います。例えば、マザーテレサは、次の言葉を残しています。

思考に気をつけなさい、それはいつか言葉になるから
言葉に気をつけなさい、それはいつか行動になるから
行動に気をつけなさい、それはいつか習慣になるから
習慣に気をつけなさい、それはいつか人格になるから
人格に気をつけなさい、それはいつか運命になるから

この中で、私が特に大切にしたいのは、「**習慣**」です。

挨拶の習慣、基本的生活習慣、学習習慣など、**習慣は誠実に努力を積み重ねた上に築かれる**ものです。

新年を迎え、今一度、自分の「習慣」を見直し、より堅実なものにしたいものです。

さて、始業式では、毎年、目標をもつことの大切さについて話しています。「**一年の計は元旦にあり**」という言葉には、その年の目標は1年の最初の日である元旦に決めるのがよいことや**何事も最初の計画や準備が大事**であるという意味があります。

「**なりたい自分**」を大きな目標として描き、**小さな目標を具体的に立てて頑張り習慣化することが大切です**。

子供たち一人一人が成長を実感し進級・進学を迎える3学期になるよう教職員一同チーム四谷小として、誠心誠意努力してまいります。

1月の行事予定

8日	木	始業式 発育測定(6年)
9日	金	給食始 席書会 安全指導 委員会
13日	火	席書会 マラソンタイム始
14日	水	発育測定(5年)
15日	木	発育測定(4年) 避難訓練
16日	金	書き初め展(～23日) 発育測定(3年)
19日	月	発育測定(2年)
20日	火	発育測定(1年)
21日	水	C時程4時間授業
22日	木	春の天童交歓会説明会
26日	月	クラブ

席書会・書き初め展

席書会担当

1月9日(金)と13日(月)の2日間にわたって席書会が行われます。新年の清々しい気持ちで書いた子供たちの作品をご覧ください。

書き初め展**1月16日(金)～23日(金)*****17日(土)、18日(日)、21日(水)を除く****15:20～16:30**

来校者の受付をしていただき、各教室前の作品をご鑑賞ください。

学区外からの通学は、原則認められていません。**学区外に転居の場合は、原則転校になります。**

学区外に転居後も四谷小学校に通学を希望する場合は、学校にご連絡いただき、基準に照らして、学校と通学の安全等の事前確認の上、教育委員会に指定校変更の申請をして、認められた場合のみ可能となります。希望通りにならない場合がありますから物件購入の前にご相談いただくことをおすすめします。

1月の生活目標

規則正しい生活をしましょう

学校で楽しく元気に過ごせるように、早寝早起きの規則正しい生活リズムを整えていきましょう。

4年「つながろう心と心」～総合的な学習の時間の学びの様子～

4年担任

2学期の総合的な学習の時間では、福祉の学習をしています。12月には、パラバレー協会の選手の方々に来ていただき、競技を体験することを通して障害者スポーツについて理解を深めました。総合的な学習の時間で各自が課題設定して調べてきたことをさらに深める学びの機会となりました。

今回の体験を通して、調べたことを整理して、自分の生活に生かせることを見付けたり、実際にパラスポーツを見に行ったりするなどタブレットや本で調べることに限らず、情報を集める手段はあります。このように、自分で課題を設定してまとめた成果を2月の学校公開で聞いていただきたいと考えています。タブレット端末の活用により、検索や動画を使って瞬時に情報収集できる学習環境が充実してきましたが、相手の立場を理解するためには実際に人に出会って学ぶ機会も大切です。

今後も実際の人との出会いや直接話を聞ける機会などを活用して、自分の考えをさらに、様々な視点から広げられるようにしていきたいと思います。



作品展示会

図工専科

昨年12月、作品展示会をご観覧くださり、ありがとうございました。児童の作品はいかがでしたか。

児童が、友達と関わりながら、楽しんで、つくりたいものや色や形を自ら考えた作品を味わっていただけたら幸いです。

私が、図画工作指導の際、意識していることを紹介させていただきます。それは、「じっくり時間をかけて、より良い工夫やひらめきを見付けること」です。検索すれば誰でもすぐに“答えのようなもの”に辿り着くことができる今の世の中で、自分の頭で考える機会が減っています。大人でも膨大な情報に飲み込まれがちで、児童たちなら、なおさら、それに順応し空想することも奪われてしまうように感じます。

図画工作の活動は、本来、想像したり、深く考えたりするチャンスがたくさんあります。そこで、できるだけ分かり易い言葉で、じっくり時間をかける大切さを伝えています。具体的には、『できた』と思ってからが、始まり、「すぐに思い付いたことは誰でも思い付けるかもしれない」、「図工は、ドリルやかきこって違って、早い・速いことがいいわけではないんだよ」と声掛けします。児童にとりましたら、面倒と感じるかもしれませんが、折に触れ、その大切さを指導して参ります。

外国語

外国語専科

校舎増築に伴い、今年度から外国語教室が新設されました。授業では、日常生活の実際のコミュニケーションの場面を想定し、ゲームなど楽しみながら表現を身につけ、自然に外国語に親しめる環境を造ることを大切にしています。



学校保健委員会

保健主任

12/16（火）に学校保健委員会を開催しました。

当日は、慶應義塾大学医学部眼科学教室 特任講師をお迎えし、「子どもの近視の実態と、目の健康を守るために今できること」をテーマにご講演いただきました。近視を予防するために気を付けたいことや、近視の進行を抑える治療法について、分かりやすくお話いただきました。

多くの保護者の皆さまにご参加いただき、ありがとうございました。今後も学校全体で、子どもたちの目の健康について考えていきたいと思っています。